

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：特定非営利法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野県長野市南高田2-5-16
評価実施期間： 令和2年9月10日から令和3年1月18日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 050301 060741 B16024	

2 福祉サービス事業者情報（令和2年10月現在）

事業所名： （施設名）長野市 青木島保育園	種別：保育所
代表者氏名：市長 加藤 久雄 （管理者氏名）保育・幼稚園課課長 島田 みち代	定員（利用人数）：170（152）名
設置主体：長野市 経営主体：長野市	開設（指定）年月日： 昭和27年 4月 1日
所在地：〒381-2205 長野県長野市青木島大塚1361	
電話番号：026-285-2551	FAX番号：026-285-2551
電子メールアドレス：aokijima hoiku@city.nagano.lg.jp	
ホームページアドレス：http://www.city.nagano.nagano.jp	
職員数	常勤職員： 50 名 非常勤職員 名
専門職員	（専門職の名称） 名 保育士 23名
	園長 1名 看護師 1名
	保育主任 1名 調理員 4名
施設・設備 の概要	（居室数） 乳児室 1 ほふく室 2 保育室 5 遊戯室 1 調理室 1 事務所 1 便所 5 屋外遊技場（園庭）1354.15m ³
	（設備等） 鉄棒・滑り台・六角はん登棒

3 理念・基本方針

<p>【保育理念】</p> <p>○こどもの健やかな心身の発達を図り、望ましい未来を作り出す力の基礎を培う。</p> <ul style="list-style-type: none">・児童福祉法に基づき、保育を必要とする子どもを保育することを目的とする。・子どもの最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進する。 <p>【基本方針】</p> <p>○安全で安心できる生活の場を整え、子どもが自己を十分発揮できるようにします。</p> <p>○専門の資格を持った職員が養護と教育を一体的に行い、子どもの発達を援助します。</p> <p>○保護者の気持ちを受け止め、共に子育てをします。</p> <p>○家庭と連携を図りながら、子育ての悩みや相談に応じ助言するなど、地域における</p>
--

子育て支援の拠点として、社会的役割を果たします。

○保育を実践するにあたっては、「全体的な計画」に基づき、一貫性を持って子どもの実態に応じた柔軟な保育を展開します。

【長野市青木島保育園の保育目標】

あお・・・青い空の下、のびのびと遊ぶ子ども

き・・・気持ちの優しい子ども

じ・・・自分で考えて行動できる子ども

ま・・・毎日、おいしく給食を食べる子ども

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

【青木島保育園の概要】

長野市の犀川にかかる丹波島橋の南側に広がる青木島地区にあり、住宅街に立地している。入所家庭の多くは核家族であり、子育てと就労の両立の支援も行っている。

道を挟んで青木島小学校が隣接しており、多くの子どもは当該小学校に入学している。

定員数170名の大規模保育園であり、現在は0歳児3人、1歳児24人、2歳児18人、3歳児29人、4歳児48人、5歳児以上30人の計152人が利用している。クラス編成は、いちご組(0・1歳児)、ばなな組(1歳児)、りんご組(2歳児)、ほし組、はな組(3歳児)、うみ組、つき組(4歳児)、にじ組(5歳児)となっている。また、延長保育、一時預かり保育を提供している。

職員配置として、看護師が1名常勤しており、健康支援、事故防止やけがや病気、アレルギーの対応、及び、新型コロナウイルス等の感染症予防対応を担当している。

【青木島保育園の特徴的な取り組み】

園外保育の充実

本年令和2年に「信州やまほいく(信州型自然保育)」の認定を受けている。住宅街に立地しながら、近くの神社や田んぼへの散歩、畑での芋づくり、プランター・飼育箱の観察などを通じて、自然と触れ合う機会を多く取り入れている。

また、毎日の園庭での運動あそびや各種運動プログラムの導入による運動機能の強化にも力をいれている。

地域の子育て支援

未就園児と保護者を対象とした園開放「おひさま広場」、保護者の就労・疾病や保護者の育児に伴う心理的・肉体的解消を目的とした預かり保育「一時預かり」事業などを実施し、地域の子育て支援に努めている。

個別に配慮が必要な子の支援

長野市が今期から導入した特別支援教育コーディネーターが1名配置されており、クラス担当にはならず、個別に配慮が必要な子の支援をクラス担当等と協働して行っている。

また、入園とならない障害児を対象とした園児との交流を促進する「親子交流体験」事業も実施している。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2 回（平成30年度）
---------------	-------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

特に良いと思う点

（１）新型コロナウイルスの感染症予防対策に組織全体で取り組んでいる。

看護師が1名常駐しており、保護者、職員、園児に関する感染症対策の中心として機能し、保護者の安心に繋がっている。対策の内容としては、毎朝保護者から提出される園児の検温と健康観察の記録内容確認と職員間の共有、登園後の園児及び職員の手洗い、職員の業務中のマスク着用、各保育室へのアルコール消毒用具の設置、食事中の園児同士の距離確保、保育室、事務室、給食室の定期的な換気等が行われている。また、保護者の園内への立ち入りも制限されているために、園だよりや玄関への写真の掲示、送り迎え時の会話等で園内の様子の情報提供に努めている。職員の負担も増えているが、保護者との信頼関係の構築にも寄与している。

（２）ゆとりのある保育を行っている。

利用者（保護者）アンケートの毎日の保育内容の評価項目で、一番満足度が高かったのは「お迎え時に、お子さんが満たされた表情や喜んだ表情をしている事が多いですか」という設問であった。また、アンケートのコメント欄には「良い雰囲気」「子どもが楽しく通園している」等の好意的なコメントも多く寄せられている。施設の老朽化や園庭の広さなどの物理的な制限はあるものの、それらを乗り越えて、異年齢保育など、園内で楽しく過ごすための工夫が随所で行われ「ゆとり」を生み出している。また、今年度は「信州やまほいく」の事業認定を受けたことにより、新しい視点での園生活の楽しみ方が生み出されることが期待できる。

（３）個別支援が必要な子ども支援が充実している。

「長野市子ども・子育て支援事業計画」の中で明確にしている、障害児等の受け入れの強化と支援の一環として、青木島保育園では、障害など配慮が必要な子どもへの支援体制を整えている。園内で通常業務からはなれて総合的な支援を行う特別支援教育コーディネーターを配置し、包括的な支援を行うことにより、一人ひとりの個性を尊重したインクルーシブな保育環境を実現している、また、同じく常勤する看護師との連携により、医療的な観点からの現状の把握による保育内容への反映も行われている。

特に改善する必要があると思う点

（１）活用できる地域の社会資源情報の共有

公立保育園の特性として職員の異動がある。個々の園児の情報等の保育サービスの提供に直接的に関わる情報の共有、保育を実施するための手順・仕組みの構築は、高いレベルで維持されており、漏れの無い引継ぎを可能としている。活用できる地域の社会資源の情報も同様なレベルでの引継ぎができる方法を明確にすることにより、保育園の保護者を含む利用者に、有用な情報を提供する機会を増やすことにつながる可能性がある。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目（別添1）

内容評価項目（別添2）

8 利用者調査の結果

アンケート方式の場合（別添3 - 1）

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添４）

（令和 3年1月14日記載）

福祉サービス第三者評価を受審させていただいたことで、保育や保護者・地域の方とのつながり等について見直す良い機会となりました。また、本園の良いと思われる点や課題についての認識を明確にすることができました。

総評におきまして、「新型コロナウイルスの感染症予防対策に組織全体で取り組んでいる」「ゆとりのある保育を行っている」「個別支援が必要な子ども支援が充実している」を良い点としてあげていただいております。このことは、子どものより良い育ちを保障していくための職員間のチームワークを大切にした保育実践を評価していただいたものと思います。これらについては今後も継続し、子ども達や保護者の方々の最善の利益になるよう、保育の質の向上を目指していききたいと思います。

改善する必要があると思う点として指摘を受けた「活用できる地域の社会資源情報の共有」については、地域の社会資源の再確認をし、課題の解決を図っていききたいと思います。

評価員の皆様には、ご指導ご助言をいただきましたこと感謝申し上げます。